※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ　（光村図書）						
副教材等	くらしのペン習字　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では、更に様々なことを学びながら深めてゆきましょう。
書写の復習から入りますが様々な書体を学び、体験し、自分らしい文字で作品を制作することで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。
① 書や書の文化に関心を持ち、書に関する諸活動を行うための知識や技能を習得することを目指す。
② 創意工夫を生かした書表現をするための思考力、判断力を身につけることを目指す。
③ 実際に作品制作を行うにあたり、意欲的、計画的に取り組むことを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書や書の文化に関心を持ち、書に関する諸活動を行うための知識や技能を習得する。	創意工夫を生かした書表現をするための思考力、判断力を身につける。	実際に作品制作を行うにあたり、意欲的、計画的に取り組む。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道 ・書写作品制作	a:基本的な用筆法を習得しているか b:作品を観察する能力はどのくらいあるか c:姿勢や執筆法の基本を理解しているか	提出作品	提出作品	授業中の練習状態と提出作品

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書	・古典作品の臨書 ・	a:技法の習得 b:用筆法には工夫がみられるか c:制作に向けて主体的に活動できているか	提出作品 ワークシート	提出作品 ワークシート	授業中の練習状態と提出作品
		・楷書、行書の学習	a:技法を理解し習得できているか b:古典の背景について理解しているか c:代表的な古典作品の良さを感じられたか	提出作品 ワークシート	提出作品	提出作品
		作品制作(半切三分の一)	a:習得した技法を使えたか b:文字と余白のバランスはとれたか c:イメージどおりに書きあげられたか	提出作品	提出作品	提出作品
後期	漢字の書	・草書、隷書、篆書の学習 作品制作	a:技法の習得はできているか b:用筆法を正しく理解できているか c:表現に工夫をして制作できたか	提出作品 ワークシート	提出作品	授業中の練習状態と提出作品
	姓名印	・自分の名前調べ 四分印で姓名印の制作	a:篆書を理解し、関心を持てたか b:篆書における分間布白を理解し表現に工夫できたか c:石に刻した表現の美しさに味わえたか	提出作品	提出作品	提出作品と授業中の練習状態
	仮名、漢字仮名交じり書	・仮名の学習 ・漢字仮名交じりの書	a:仮名の用筆法を理解しているか b:語句、文字の選定に創作活動についての意欲が感じられる c:作品の意図を明確にするための技能を身につけようと努めている	提出作品 ワークシート	提出作品 ワークシート	提出作品と授業中の練習状態
	作 色紙・短冊・カレンダー制	・色紙作品 文字調べ、草稿作成 ・短冊作品 古典、現代文いずれか ・カレンダー作品 自由創作で制作	a:語句、文字、技法など使う素材をよく知って理解している b:作品の意図を明確に表現するための技能が身についている c:創作活動についての意欲が感じられる	提出作品 レポート	提出作品 レポート	練習状態 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度